

政権発足に一步近づくスペイン

発表日：2016年8月12日(金)

～ラホイ首相のねばり勝ち？～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

- ◇ 6月末の再々選挙後も政権発足が難航するスペインだが、新興リベラル政党の市民が汚職疑惑追及などを条件に中道右派の国民党政権を信任することを示唆し、政治空白打開への期待が高まっている。
- ◇ 市民の協力が得られても、多数派政権誕生には7以上の信任票、非多数派政権誕生には13以上の棄権票が必要となる。カタルーニャの独立を求める政党や左派系地域政党とは距離を置くとみられるため、国民党が政権を発足するには中道左派の社会労働党の協力が不可欠な状況に変わりはない。
- ◇ 社会労働党は今のところ国民党政権の誕生を阻止する構えを崩していないが、このまま再々選挙となれば国民は社会労働党に対して厳しい視線を投げ掛ける恐れがある。秋の予算編成や地方選挙を睨みつつ、最終的には社会労働党による投票棄権という形で国民党政権が誕生する可能性が高い。

昨年12月の総選挙後に政権が発足できず、6月26日に再選挙が行なわれたスペインでは、再選挙から2ヶ月近くが経過した今も政権発足が難航している。政権発足には、国王から氏名された首相候補が、議会の過半数の信任票を得る必要がある。初回投票では定数350議席の絶対過半数(=176議席)が必要で、初回投票から2日後に行われる2回目以降の投票では、投票総数の単純過半数(欠席者や投票棄権者を除いた過半数)が必要となる。初回の信任投票から2ヶ月以内に政権が発足できない場合、54日後に再々選挙が行なわれる。フェリペ国王は7月28日、最多議席を獲得した中道右派の「国民党(PP) <137議席>」を率いるラホイ現首相を首相候補に指名。国民党は単独政権発足に必要な過半数を獲得していないため、第2党で中道左派の「社会労働党(PSOE) <85議席>」、第4党で新興リベラル政党の「市民(C'sまたはCiudadanos) <32議席>」、右派系の地域政党などに連立参加や閣外協力を求めてきた。協議は難航していたが、これまで投票棄権という形でしか国民党政権の発足に協力しないとしてきた市民が8月9日、初回の信任投票の日時を確定、選挙制度改革、国民党の汚職疑惑の追求と関与議員の追放、首相の在任期間を8年以内に制限するなどの要求を受け入れることを条件に、内閣信任投票で国民党を信任する方針を表明した。国民党はこうした市民の要求を受け入れるか、8月17日に党執行部が決定するとしている。

国民党の支持が得られた場合も、多数派政権の発足には他党からさらに7以上の信任票が、非多数派政権の発足には13以上の投票棄権が必要となる(図表1・2)。国民党は第3党で新興左派政党の「ポデモス(Podemos)」と共産党系左派の「統一左翼党(IU)」が合流した「ポデモス連合(Unidos Podemos) <71議席>」との連携を拒否している。残りの25議席はカタルーニャ、バスク、カナリアの地域政党が保有しているが、国民党とイデオロギーが近い右派系政党に限れば14議席、うちカタルーニャの独立を求め

る2政党が17議席を占める。カタルーニャ以外の右派系地域政党は僅か6議席にとどまり、多数派政権に必要な7つの信任票、非多数派政権に必要な13の棄権票には届かない。左派系地域政党は比較的左派色の強い政党で、中道右派の国民党が協力を得るのは難しい。国民党も同党への協力を表明した市民もカタルーニャの独立運動に反対している。カタルーニャ自治州政府がここに来て再び一方的な独立に向けた動きを進めており、独立を支持するカタルーニャの2政党とは距離を置く可能性が高い。結局、国民党が政権を発足するには、第2党の社会労働党が投票を棄権し、非多数派政権の発足に協力する以外にない。

社会労働党は今のところ国民党政権誕生にはいかなる形でも協力しない方針を堅持しており、再々選挙となる可能性も否定はできない。ただ、再選挙後の世論調査は再々選挙後の主要4政党の勢力図が大きく変わらないことを示唆している。このまま社会労働党が国民党政権の誕生に協力せず再々投票となれば、国民は政治空白を招いたとして社会労働党に厳しい視線を投げ掛ける恐れがある。また、リベラル政党を自認する市民が中道右派の国民党政権に参加する可能性が高まったことで、社会労働党は中道左派票の受け皿としてアピールすることが出来る。次の政権奪取の機会を窺い、投票棄権という形でひとまず国民党政権の誕生に協力する可能性が高まってきた。秋に予定される来年度予算編成や地方議会選挙などが社会労働党の方針転換のきっかけとなり得る。もっとも、政権誕生に協力するとした市民は、閣内に組み込まれることで埋没するリスクを恐れ、国民党と連立を組むかについては明言を避けている。国民党の非多数派政権が誕生したとしても、政権基盤は脆弱なものにとどまろう。

(図表1) スペイン再選挙での政党別獲得議席

政党	イデオロギー	今回 (2016/6/26)	前回 (2015/12/20)
国民党 (PP)	中道右派	137	123
社会労働党 (PSOE)	中道左派	85	90
ポデモス連合 (Unidos Podemos)	左派	71	—
ポデモス (Podemos)	左派	—	69
統一左翼党 (IU)	左派	—	2
市民 (C's)	リベラル	32	40
カタルーニャ共和左派 (ERC-CatSi)	左派	9	9
カタルーニャ民主統一 (CDC)	中道右派	8	8
バスク人民党 (EAJ/PNV)	中道右派	5	6
バスク統一党 (EH Bildu)	左派	2	2
カナリア人民党 (CC-PNC)	中道右派	1	1
合計	—	350	350

出所：スペイン内務省資料より第一生命経済研究所が作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(図表2) スペインの政権発足に必要な政党の組み合わせ

【二党連立】		【初回投票での絶対過半数】	
国民党 (PP)	137	議席総数	350
市民 (C's)	32	絶対過半数	176
	169		
【二党に右派系地域政党※が合流】		【右派系地域政党※が投票を棄権】	
国民党 (PP)	137	投票総数	344
市民 (C's)	32	単純過半数	173
※カタルーニャ以外の右派系地域政党	6		
	175		
【二党に右派系地域政党が合流】		【右派系地域政党が棄権】	
国民党 (PP)	137	投票総数	336
市民 (C's)	32	単純過半数	169
全ての右派系地域政党	14		
	183		
【二党に社会労働党が合流】		【右派系地域政党※と社会労働党の7議員が棄権】	
国民党 (PP)	137	投票総数	337
市民 (C's)	32	単純過半数	169
社会労働党 (PSOE)	85		
	254		
		【社会労働党が棄権】	
		投票総数	265
		単純過半数	133

出所：スペイン内務省資料より第一生命経済研究所が作成

以上